

金沢城公園 橋爪門

石川県土木部営繕課

金沢城公園は、本県の歴史・文化・伝統を継承する貴重な財産であり、まさに加賀百万石の象徴となっています。かつて、廃藩置県以後は旧陸軍の兵営、戦後は金沢大学のキャンパスとして利用され、平成13年から都市公園として開園しました。

金沢城の復元整備にあたっては、史実を尊重し、本物志向で伝統的な工法により取り組んできたところであり、この3月には、藩主の住まいがあった二の丸御殿に至る最後の門「橋爪門」の復元が完成し、江戸後期（文化5(1808)年以降）の金沢城の勇壮な姿が蘇ったところです。

- 施設名 : 金沢城公園 橋爪門
- 工事期間 : 平成24年1月～平成27年3月
- 所在地 : 金沢市丸の内地内
- 構造規模 : 木造 2階建て
- 発注者 : 石川県

Contents

- P1 今号の表紙(石川県) ...金沢城公園「橋爪門」
- P2 事業紹介(石川県) ...加賀百万石『前田家』の名城 金沢城公園「橋爪門」の復元整備
- P3 事業紹介(北陸地方整備局) ...国有財産の効率的な使用 新潟地方合同庁舎の使用調整
- P4 話題 ...工事受注者の作業負担軽減 工事書類の簡素化・効率化の試行
- P5 話題 ...災害時における省庁間の被災状況伝達 「官庁施設の被災情報伝達要領」本格運用を開始
- P6 話題 ...受賞おめでとうございます 平成26年度完成北陸地方整備局優良工事等の表彰(営繕関係)
- P7 保全情報 ...施設管理担当者にBIMMS-Nの演習を実施 平成27年度北陸地区保全実務担当者講習会を開催
- P8 保全情報 ...施設管理担当者に点検の実地講習を実施 平成27年度北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催
- P9 情報ヘッドライン ...公共建築相談窓口について等



事業紹介（石川県土木部営繕課）

一 加賀百万石『前田家』の名城 一

金沢城公園「橋爪門」の復元整備

◆ 事業概要

北陸新幹線金沢開業を見据え、金沢城二の丸の正門にあたる橋爪門の復元を実施し、平成24年6月から約3年の工期を経て、平成27年3月7日に公開しました。

橋爪門は過去に3度の火災により焼失しており、今回復元する橋爪門は4代目として約134年ぶりに復元したもので、「石川門」

「河北門」「橋爪門」で取り囲む金沢城三の丸一帯の藩政後期の城郭景観が甦りました。

復元は、史実に添った本物志向で、設計段階より古写真、絵図、文献そして埋蔵文化財の調査による検証と、専門家の考察を十分に行って工事に着手しました。

また、金沢城の整備においては、単に昔の建物を復元するという形に見えるものだけではなく、日本古来の伝統的工法を後世に引き継ぐという使命を認識し、大工、板金、左官、石、建具などの築造は、そのほとんどが県内の職人の手によるものとなっています。

◆ 特徴

橋爪門は、高麗門形式の「一の門」、石垣と二重塀で囲まれた「柵形」、櫓門形式の「二の門」からなる柵形門で、柵形は城内最大の規模を誇ります。

「石川門」「河北門」とともに「金沢城三御門」と呼ばれ、二の丸御殿へ至る最後の門として、1階門部には番所が置かれ、通行に際しては最も厳しい制限がかけられ、また、二の門の床には、二の丸御殿と同じ敷き方で戸室石の敷石が敷かれているなど、金沢城の中で最も格式が高い門とされています。



外観



石工事

左官工事



木工事



二の門2階 櫓内部



事業紹介（北陸地方整備局）

— 国有財産の効率的使用 —

新潟地方合同庁舎の使用調整

新潟地方合同庁舎の書庫棟増築及び既存庁舎の使用調整に伴う改修工事は、平成26年8月に発注され、平成27年3月に完成しました。

この事業は、新潟地方合同庁舎に入居していた新潟農政事務所統計部及び同新潟統計・情報センター（平成24年4月退去）の統廃合や北陸信越運輸局海技試験場（平成24年6月退去）、新潟地方法務局訴務部門（平成26年3月退去）及び新潟行政評価事務所（平成26年8月退去）の移転等計画により発生する空きスペースに、関東信越国税局新潟税務署及び関東信越国税不服審判所新潟支所を移転させる使用調整計画が平成25年6月の財政制度等審議会承認されたことに伴うものです。

新たに入居する2官署がこれまで入居して

いた新潟財務総合庁舎は耐震性が著しく低く、かつ、耐震改修が困難であったことから、この使用調整計画により耐震性能不足の解消及び売却可能財産（新潟財務総合庁舎敷地）の創出ができることとなります。

工事完成後の平成27年5月には移転が完了し、運用開始をしています。

工事概要

- 所在地：新潟県新潟市中央区西大畑町
- 建築物：書庫棟増築（一部取壊し）
増築S-4、延べ面積574㎡
既存庁舎（S51築、H22耐震改修）
RC-4、延べ面積3,199㎡
使用調整に伴う改修工事
- 発注者：国土交通省北陸地方整備局
- 工期：平成26年8月27日～平成27年3月25日

耐震性能不足
耐震改修困難



新潟財務総合庁舎

耐震性能不足解消
売却可能財産（土地）の創出

移転

関東信越国税局新潟税務署
関東信越国税不服審判所新潟支所

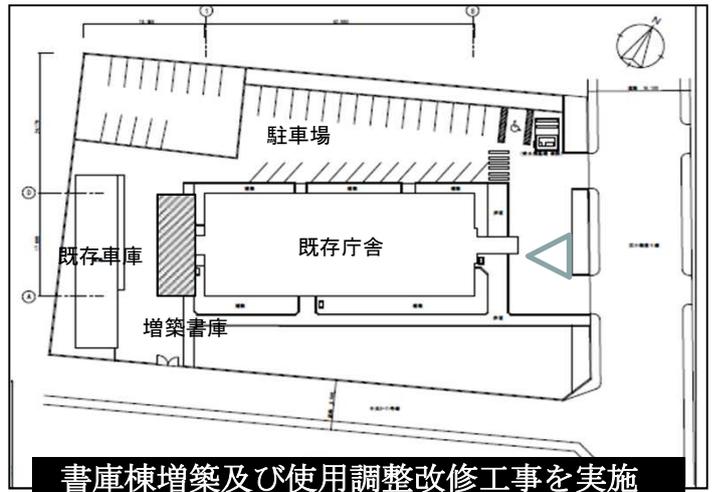
新潟農政事務所統計部及び
新潟統計・情報センター

新潟行政評価事務所

新潟地方法務局（訴務部門）

北陸信越運輸局海技試験場

統合・移転等



書庫棟増築及び使用調整改修工事を実施



新潟地方合同庁舎



一 工事受注者の作業負担軽減 一

工事書類の簡素化・効率化の試行

1. はじめに

北陸地方整備局営繕部では、平成25年11月より受発注者相互の業務効率化と工事目的物の品質向上を目指し、工事書類の簡素化に取り組んできましたが、その取組を更に強化するため、本年4月より、簡素化できる書類を受発注者間で確認することを目的に、工事契約直後に協議を行うことの徹底を図ることとしました。また、更なる書類作成の負担軽減に資するため、本年7月より施工計画書の記載例の提供をすることとしました。

2. 簡素化の試行内容

受注者の多くは、工事書類は「何を」「いつ」作成すべきかが理解されていない事による作成忘れ、提出遅れ等の問題がありました。また、重複記載等により増え続けていたのが現状でした。そこで、今一度、計画的に効率よく工事書類を作成していただくため、作成する内容の見直し、また、効率化に資するための簡素化の考えをまとめた、「工事関係図書一覧表【工事書類簡素化対応】」を用いて、契約後速やかに受発注者相互で協議し工事書類を決定することとしました。

着工前に作成書類を明確化にすることにより、計画的な工事書類作成に資することになると考えております。

【工事書類一覧表【簡素化対応】（抜粋）】

工事関係図書一覧表【工事書類簡素化対応】							
項目	図名	提出先	提出時期	提出頻度	備考	簡素化の取組	出納作業状況
1-1	工事工務書	1	1	契約後 14日以内	図面作業済		●
1-2	建築計画図	1	1	契約後 14日以内	図面作業済		●
1-3	建築計画書	1	1	契約後 14日以内	図面作業済		●
1-4	建築計画書（簡素化対応）	1	1	契約後 14日以内	図面作業済	※簡素化対応の建築計画書は、従来の建築計画書と異なり、図面作業済の記載がない。	●
1-5	建築計画書（簡素化対応）	-	1	契約後 14日以内	図面作業済	※簡素化対応の建築計画書は、従来の建築計画書と異なり、図面作業済の記載がない。	●
1-6	建築計画書	-	1	契約後 14日以内	図面作業済	※簡素化対応の建築計画書は、従来の建築計画書と異なり、図面作業済の記載がない。	● □

3. 効率化の試行内容

昨年度実施した複数の工事受注者へのヒアリング結果によると、工事書類のなかで、最も詳細な記載が求められる施工計画書の作成が受注者の負担となっているとの声がある事から、記載例を提供することとしました。記載例は「品質管理」の体制や管理方法について「何を」「どの程度」作成すべきかを理解して頂き、工事書類作成の負担軽減に資することとしました。

記載例としましては、総合施工計画書の他工事安全、塗装工事、屋内配線工事、配管工事の5例において試行します。

4. 効率化・簡素化の更なる周知

「工事書類一覧表【簡素化対応】」及び施工計画書（記載例）」は、より広く周知するため、北陸地方整備局営繕部のホームページで公開しております。また、今後は、業界団体等との意見交換会等を通じ工事書類の簡素化・効率化の取り組みを周知していきます。

【施工計画書表紙（記載例）】

この計画書は参考として提示するものであり、受注した工事の内容、現場状況に照し適切に作成しなければなりません。

参 考

工事件名 ○○○○○建設工事

総合施工計画書

工事監理 北陸地方整備局営繕部（保安指導・監督室）
（又は北陸地方整備局 金沢器機事務所）

品質計画、施工報告の承認
平成○○年○月○日
主任監理員 ○○ ○○ 印
監督員 ○○ ○○ 印

監 理 ○○○○会社

管理技術者 ○○ ○○ 印

主任技術者 ○○ ○○ 印

受注者 ○○○建設工業㈱

主任（監理）技術者 ○○ ○○ 印

現場代理人 ○○ ○○ 印

監理業務がある場合は
の記載する。



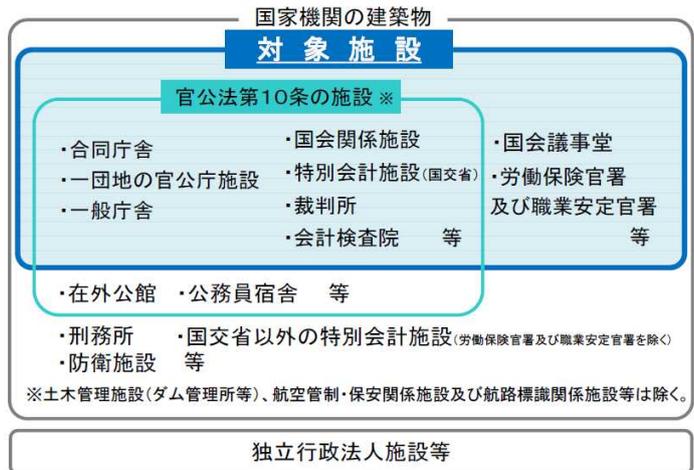
話題

－ 災害時における省庁間の被災状況伝達 －

「官庁施設の被災情報伝達要領」 本格運用を開始

H27. 4. 1から試行運用していた「官庁施設の被災情報伝達要領」がH27. 7. 17の各省各庁申合せを受け、翌18日に運用開始されました。

同要領は、災害時の官庁施設に関する被災状況の伝達方法を定め、施設管理者と地方整備局等が効率的かつ確実に官庁施設の被害情報を共有し、地方整備局等が施設管理者からの要請に応じて技術的支援を行うことにより、来訪者や職員の安全確保、二次災害の防止に資することを目的としています。

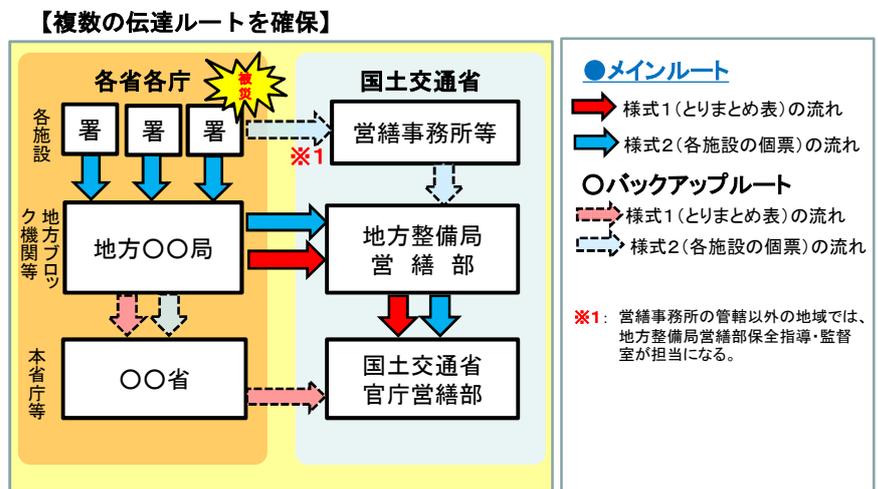


1. 対象施設

対象施設は、「官公庁施設の建設等に関する法律」第10条の施設を基本としています。ただし、施設点検や予算要求資料作成等の技術的支援については、対象施設以外でも行うことが可能です。

2. 複数の伝達ルートを確認

これまでの災害時の状況等を踏まえ、より迅速で確実な情報伝達が可能となるよう、複数の伝達ルートを確認しています。



3. 北陸地方整備局営繕部等の対応

大規模災害時には、多くの施設で継続使用の可否等の技術的判断が必要になることが想定されます。

このため、北陸地方整備局営繕部等では、災害の種類・規模、官署種別等により、対象施設をA B Cの3つに区分し、機動的に対応します。

4. 伝達様式等

国交本省から各省各庁に配布済みです。地方レベルでは、7月に全国各地で行われた地区保全連絡会議等において周知したところです。

【北陸地方整備局営繕部等の対応区分】

地震災害		その他の災害
震度5強以上の地域に所在する全ての施設		被災があった施設
A優先対応施設	Bその他施設	
被害の有無 被害の状況		被害の状況

- A 優先対応施設 : 災害応急対策活動を実施する施設等(予め設定)
- B その他施設 : 上記以外

○大規模災害時における北陸地方整備局営繕部等の対応

- (1) 応急対策活動期(災発直後の初動期)
- ・Aの施設については優先的に被害の有無の把握や技術的支援を実施。
 - ・B、Cの施設については要請があれば可能な範囲で技術的支援を実施。
- (2) 応急対策活動期後
- ・A、B、Cを区分せずに対応。
- ※注: 北陸地方整備局営繕部等(営繕部及び金沢営繕事務所)



1 優良工事等の表彰の概要

北陸地方整備局では、所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目指しています。

この中で、事業や業務の内容等を考慮してより広く選定し、特に優秀なものを局長表彰、優秀な者を事務所長表彰としています。また、優良工事を選定された工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業を表彰しています。

平成26年度に完成した工事のうち、営繕事業に係る優秀なものについて、下記のとおり表彰されました。

2 営繕部における優良工事等

①優良工事 [局長表彰]

受賞者：伊藤建設株式会社

工事名：トキ保護センター(13)飼育ケージ新築工事



トキ保護センター(13)飼育ケージ新築工事



局長表彰・営繕部長表彰 (平成27年7月17日)

②優良建設技術者(工事) [局長表彰]

受賞者：松井 由之(監理技術者)(現場代理人)

工事名：トキ保護センター(13)飼育ケージ新築工事

会社名：伊藤建設株式会社



金沢駅西合同庁舎(14)電力・通信設備改修工事

③優良工事における下請負者表彰 [営繕部長表彰]

受賞者：河上金物株式会社(鋼構造物工事業)

工事名：トキ保護センター(13)飼育ケージ新築工事

3 金沢営繕事務所における優良工事等

①優良工事 [金沢営繕事務所長表彰]

受賞者：成瀬電気工事株式会社

工事名：金沢駅西合同庁舎(14)電力・通信設備改修工事



金沢営繕事務所長表彰 (平成27年7月27日)

— 施設管理担当者にBIMMS-Nの演習を実施 —



保全情報

平成27年度 北陸地区保全実務担当者講習会を開催

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所は、新潟県、富山県及び石川県において、平成27年度「北陸地区保全実務担当者講習会」を開催しました。

「北陸地区保全実務担当者講習会」は施設管理担当者として庁舎等の保全の実務にあたり必要な知識等を得ることを目的に、開催しています。

北陸地区保全実務担当者講習会出席状況

開催日	平成27年5月15日	平成27年6月16日	平成27年6月17日
開催地区	新潟県		
開催会場	ビジネスインターネットカレッジ新潟校	新潟美合同庁舎1号館	
参加者(国家機関)	13 官署 17 名	8 官署 20 名	9 官署 15 名
開催日	平成27年5月22日	平成27年5月29日	
開催地区	富山県	石川県	
開催会場	富山市職業訓練センター	石川職業能力開発促進センター	
参加者(国家機関)	12 官署 13 名	16 官署 18 名	



講習会の状況（新潟会場）

[講習会の内容]

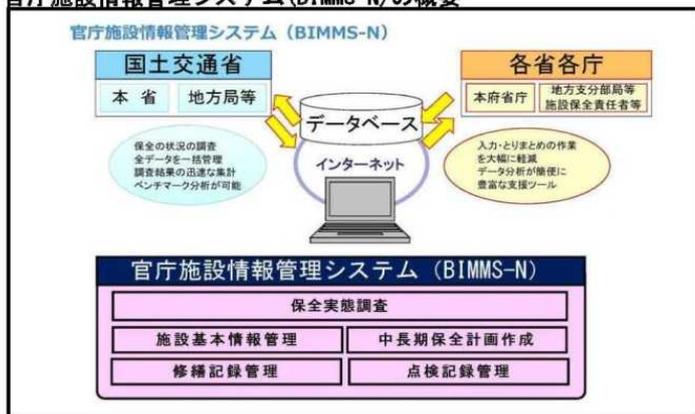
1. 保全について（概要）
2. 北陸地整管内の保全の現況
3. 国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)
4. 官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の概要
5. 官庁施設情報管理システムの実践

講習会は営繕部保全指導・監督室や金沢営繕事務所の担当者による北陸地整管内の保全状況の報告やBIMMS-Nの操作説明の後、実際にPCを用いて操作の習得を目的に演習を行いました。



官庁施設情報管理システムの実践（新潟会場）

官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の概要



官庁施設情報管理システムの実践（富山会場）



保全情報

一 施設管理担当者に点検の実地講習を実施 一

平成27年度 北陸地区官庁施設保全連絡会議を開催

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所は、新潟県、富山県及び石川県において、平成27年度「北陸地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。

「北陸地区官庁施設保全連絡会議」は、国家機関の建築物の保全業務を担当している施設管理担当者に対して、保全業務の現況と課題等を紹介し、保全業務の参考にしていただくことや意見交換を行うことを目的に、開催しています。



会議状況（新潟会場）

北陸地区官庁施設連絡会議会議出席状況

開催日	平成27年7月9日	平成27年7月15日	平成27年7月29日
開催地区	新潟県	富山県	石川県
開催会場	新潟美咲合同庁舎1号館	富山地方合同庁舎	金沢駅西合同庁舎
参加者			
国家機関	21 官署 36 名	14 官署 19 名	14 官署 15 名
地方自治体	-	2 機関 3 名	2 機関 2 名
独立行政法人	5 機関 7 名	-	1 機関 1 名

[連絡会議の内容]

1. 「インフラ長寿命化計画（行動計画）」について

平成26年度において国家機関の建築物の対象としている保全実態調査により把握出来ている北陸地方整備局管内の施設は、298施設、延べ面積約62万㎡となっている。建設後30年を超えている施設が約58%を超えている現況にあり、今後、大規模な修繕や設備機器の更新等が増加し、修繕費用の増加が予想されるため、各省毎に策定している「インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づき、施設の点検・診断、修繕、更新、予算管理等の適切な実施が必要であることを説明しました。

2. 法律に基づく点検について

法律に基づく点検の実地講習として、実際に会議会場の庁舎を使用して、官公法の点検や注意点等を確認し、法律に基づく点検について演習を行いました。



点検実地講習の状況（富山会場）

3. その他情報提供について

保全業務を担当している施設管理担当者に、法改正に伴う保全業務に必要な下記の情報提供を行いました。

- ①建築基準法の改正に伴う定期報告・定期点検制度等について
- ②フロコンの使用の合理化及び管理の適正化に関する法律について
- ③官庁施設の被災情報伝達要領（案）について
- ④小荷物専用昇降機の適正な維持管理について

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。国土交通本省及び各地方整備局等に相談窓口が設置された平成26年1月以降の累計の相談件数は、3,300件を突破しました。

また、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

○ 北陸地方整備局営繕部計画課

TEL: 025-280-8880 (内線5153)

(保全関連は内線5512)

FAX: 025-370-6504

e-mail: pb-soudan@pop.hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名または会社名と担当者等をご記入下さい。

○ 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課

TEL: 076-263-4585

FAX: 076-231-6369

■ 官庁営繕の「Q&A」

国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」や、公共建築の品質確保を図るための技術基準やマニュアルを官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000063.html

■ 保全現地指導及び

官庁建物実態調査の協力依頼

平成27年度の保全現地指導については9月以降に開始します。対象は国の機関の官庁施設です。原則、官庁建物実態調査と合わせて行います。該当施設や日程等の通知を後日送付しますので、ご協力をお願いします。

■ 平成27年度北陸地区

営繕主管課長会議について

平成27年度北陸地区営繕主管課長会議(前期)が5月14日に北陸地方整備局会議室で開催されました。北陸地方整備局からの情報提供と各機関からの提出議題に対する意見交換等が行われました。

後期会議(秋)は、富山市で開催予定です。

平成27年8月発行 通巻32号 ホームページアドレス http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/002_event/event.html

北陸地方整備局営繕部 TEL025-280-8880 (代表) FAX 025-370-6504
編集: 北陸地方整備局金沢営繕事務所 TEL076-263-4585 (代表) FAX 076-231-6369

『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。

北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。